

身体的拘束は、患者の行動の自由を制限することであり、
尊厳ある生活を阻むものである。

患者の尊厳と主体性を尊重し、拘束を安易に正当化することなく、
職員一人一人が拘束による身体的・精神的弊害を理解し、
身体的拘束廃止に向けた意識をもち、緊急・やむを得ない場合を除き
身体的拘束をしない診療・看護の提供に努めます。

当院の取り組み



尊厳と主体性の尊重

患者様の人権を尊重し、
尊厳ある生活と
主体的な意思を大切にします。



身体的・精神的弊害の理解

拘束による身体的・
精神的な弊害を理解し、
リスクのないケアを
提供します。



緊急・やむを得ない場合以外 行いません

緊急・やむを得ない場合を除き、
身体的拘束は行いません。



患者様が安心して療養できるよう、
さまざまな工夫を行い、安全で快適な環境づくりに取り組んでいます。

\\ ご理解とご協力をお願いいたします //